

## 令和2年度港北区市民活動交流会（要旨）

●日 時 令和2年10月31日(土) 10時30分～12時

●会 場 港北区役所 4階会議室

●参加者(団体)

港北すみれの会、地球っ子・綱島、特定非営利活動法人バンブーまなび塾、

NPO 法人街カフェ大倉山ミエル、NPO 法人フォーラム・アソシエ、NPO 法人サンライト

港北えがおまつり実行委員会、港北ふるさとテレビ局、アイネット (I♥Net)

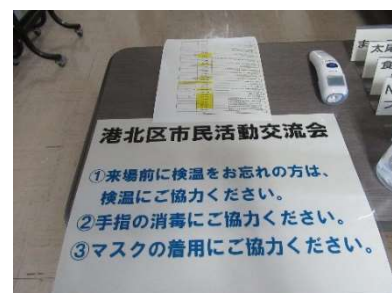
港北区地域のチカラ応援事業推進懇話会 上野正也委員、長田進委員、片桐朋子委員、天明美穂委員

[港北区] 地域振興課地域力推進担当、港北区区民活動支援センター



※ 今回の会議のコロナ感染拡大防止の取組

- ・ 事前に会場の机・イスの消毒
- ・ 参加者の検温 家を出る前に検温いただき、体温が37.5度以上の場合は、参加を見合わせる。  
忘れた場合は、会場入り口で検温の実施。
- ・ 会場の入口で、手指の消毒
- ・ 会場内ではマスク着用
- ・ 窓をあけ会議室の換気の実施
- ・ 参加者の連絡先の収集
- ・ 飲食は水分補給にとどめる



[準備物品] 非接触検温計、手指消毒剤、予備マスク

## 【概要】

### 1 はじめに 【司会（港北区）】

#### ○今回の市民活動交流会について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者を絞り「令和2年度地域のチカラ応援事業申請団体」を対象とし、1時間30分という短時間で実施することとした。内容は区のホームページで公開していきます。

#### ○新型コロナウイルス緊急事態宣言・段階的解除の状況

- ・ **資料1** のとおり、2月末から現在（10月末）までの地域の状況について説明。

#### ○令和2年度地域のチカラ応援事業の取組概況

- ・ **資料2** のとおり説明。

#### ○「コロナ禍を乗り越え市民活動を進めていくために」アンケート結果

- ・ **アンケートのまとめ** のとおり情報提供。

### 2 意見交換（要旨）

#### 【司会】

参加団体より「活動する上での感染予防の取組」、「団体スタッフ・参加者のモチベーションを低下させない工夫」、「事業実施の工夫（オンラインなど）」、「その他、アイデアや行政への要望など」について、現状を報告いただき、質問や意見を頂戴するといった形ですすめます。

#### 【NPO 法人フォーラム・アソシエ】(アソシエ)からの現状報告・要旨

・新横浜にあるオルタナティブ生活館に事務所があり、子どもを真ん中においてきたネットワークづくりを目指したさまざまな講座やワークショップなどを開催しています。

・コロナ禍より前、今年1月頃から事務作業の効率をめざし、FaceBook（以下「FB」）やオンライン会議によるIT化を目指していました。

・アソシエは年400～500講座を予定していたが、コロナ禍でリアル開催はできなくなりました。

オンライン講座に切り替え、まずは準備段階として講座・講習の送り手側のスキルを学ぶことも含め9月まで無料で講座を開催し、10月からは有料にします。

・今年度の「子育てLABO」はオンラインで講座開催、去年は0歳～1歳の子育て期、今年は～学童期まで学齢期を広げての内容としました。

・講座の企画・準備段階で、FBやZOOM会議を行いました。

・年末～年明け以降に向けて順次子育てラボ講座（ZOOM使用、参加費1500円・全5回）開催します。

・『こくちーず』を使っての申し込みで個人情報の収集、集金ができるようにしました。

#### ★意見交換★

●委員 コロナ前から先取りし市民活動の良さを感じました。

ITの活用スキルの獲得、提供するのに経費は？

【アソシエ】生活クラブからの業務委託という形でやっています。

●委員 年齢幅を広げたことによってどうですか？

IT活用 ※運営への活用

<講座（1～3月）> <コロナ禍で>

- ◆Facebook
- ーグループページ
- ーピア会議
- ◆Google
- ーカレンダー
- ードライブ
- ーフォト

- ◆オンライン会議
- （型事会、事務局）
- ◆在宅勤務
- （事務局3人のうち1人）

オンライン講座 ※提供事例

子育てLABO ※アソシエHP

※こくちーずプロ

11/14 100unity 産後ママの心

永田智子さん

妊娠～産後のママの心

【アソシエ】 今年は全部土日開催にして参加者アップを図っています。

●事務局 リアルをオンライン化してどうですか？

【アソシエ】 料理などは手元が見えてよい。子育てはこれから。集中力がもたないので2時間で終わるように工夫しました。

●委員 講座開催時のフリートークの工夫は？ 昨年の集客は？

【アソシエ】 話すのが嫌な人もいたので、グループ内にチームメンバーを入れ、話を回すようにしました。実際はこれからののでどうなるか。去年は1講座平均10人くらい。

●委員 大学の授業だとたくさん受けられるのでオンライン講座で人が増えています。

【アソシエ】 移動を考えなくてよいので県外などからも受講してくれると嬉しい。

●委員 オンラインでは外国や遠隔地など通常とは違う先生も呼べる利点もあります。

オンライン化を実施して、どうなったか結果をお聞きしたい。

### 【特定非営利活動法人バンブーマナビ塾】(学び塾)からの現状報告・要旨

・不登校、引きこもり、障害などの方々の自立支援、自立に向かう活動を自宅に来てもらい学習や経験する活動に取り組んでいます。コロナ禍で実施が困難になりました。

・来所の子どもは、不登校が続く高校生や親が夜まで働いていたりして困難を抱えている小学生など多様だ。コロナのせいで子どもたちはお弁当もしゃべらずに食べたり、抑圧されていると感じています。

・塾は6月から再開しました。換気・イス機の消毒・手指の消毒・うがいの実施など徹底をしていますが、一人一人にも気を付けてもらわないといけない。

・三密を避ける工夫としてはZOOMやオンラインでの授業の実施。集まるにしても長机が密なので資金を使って個別の机を導入しました。

・ZOOM、オンライン授業では、顔を見て関係を築くことを大切にしました。学習面ではテキストを共有して問題の解説をしたり、ホワイトボードに書いているのを見てもらったりしました。

・実習は、なるべく屋外でやっています。2人～4人の少人数で人気のある実験教室をやったり、庭で野菜作りもしました。

・利用者には裕福でない家庭の子もいて、オンラインの環境のない人もいます。地域のチカラ応援事業補助金のほか持続化給付金、県の給付金、緊急助成金など可能な限り申請し、環境整備のために貸出用のiPadを導入しました。

・新しい生活様式に対応してやっていかなければならないと感じています。

・課題は19人いた利用者が9人まで減り、利用料収入も減少しました。

・今後は、オンラインを使った引きこもりの相談などもできるとよいと思っています。

### ★意見交換★

●委員 今年オンラインになってどうなりましたか。

【まナビ塾】 学校に来づらかった人も、対面恐怖症があった人も大丈夫でオンラインになじんだようです。

●委員 スタッフの皆さんの負担が増えたのではないのでしょうか。

【まナビ塾】特に環境整備の面やオンラインで使用する教材の作成が大変でした。

●委員 利用者減の理由は？

【まナビ塾】電車や、そもそも外が怖い。

一方でオンラインができるようになったことによって、横に先生がいなくても一人でできるかも、と気付いた

地域に根ざし不登校ひきこもり等困難を抱える児童・青少年に対し、孤立することなく、生き生きと自分らしく幸福な人生を歩んで行けるように  
**学習支援、居場所、相談、自立支援**など様々な手伝いをする  
 NPO法人です。地域活動ですが今年でも年活動を続けています。

ところが、思いもよらない困難が起きました。!?

2020年3月からの新型コロナウイルスの影響で利用者さんが一人もバンブーに集れなくなりました。本当に困りました。6月から開講が緩和されましたがコロナ禍の影響はまだ続いています。いつになったら元に戻るかわかりません。でも、このままコロナに負けてはいけません。できることからやって行こうと新しい生活様式と支援方法にトライしました。それはオンライン授業と相談。三密を避けた対面授業と野菜作りやイラストカレンダーづくり等の居場所活動です。

7月から始めました。利用者さんのオンライン環境の整備、適切な教材や居場所に必要材料の調達、スタッフの研修など課題は沢山ありましたがオンライン授業の良い面や三密への工夫による利点が見えています。今後もオンライン授業の定着に取り組めます。

人もいました。居場所の利用者で、美女と野獣の英語版を翻訳してイラストをつける作業をしたり、イラストを作成するのが好きな24歳の引きこもりの女性は、イーゼル付きカレンダーを作成しました。(会場で配布された)この場で配布すると話したところ大変喜んでいました。

●委員 学習支援・居場所の提供、両方に意味がある活動となっています。スタッフの負担は増えますが健康に留意して活動してください。

【港北ふるさとテレビ局】からの現状報告・要旨

- ・港北の昔や今を映像化して公開し、残す活動をすすめています。
- ・今年は、コロナに関係なくストックしていた200本近い映像の公開に注力する予定でした。
- ・映像を図書館のようにジャンル分けしてホームページ上で「港北映像ライブラリ」を公開しています。これは「わがまち港北映像プロジェクト」といういろいろなジャンルの方々と別団体を立ち上げ運営しています。
- ・コロナ禍でこのライブラリがステイホームに寄与し、ブレイク。動画が様々な人に活用されました。
- ・8月頃から港北ふるさとテレビ局もやっと動き出しました。11月のオンラインによる「ふるさと港北ふれあいまつり」の開催により、**連合町内会**などの団体から動画作成の依頼が来ていて多忙です。



★意見交換★

●委員 「作る」から「見せる」の段階になったと思います。閲覧数やこれまでの8mm映像の収集の取組状況はいかがでしょうか？

【港北ふるさとテレビ局】5月頃からライブラリの視聴数が増えました。8mm映像の収集も継続していますが数は少ないです。

【NPO 法人街カフェ大倉山ミエル】(ミエル)からの現状報告・要旨

- ・大倉山4丁目にあるカフェを拠点にシニア、子連れの親、子どもたちの居場所として活動をしています。
- ・今年度の地域のチカラ応援事業としては「森のようちえん」と「子ども哲学」に取り組んでいます。「東急子ども応援プログラム2020補助金」も活用し、「子どもと考えることもの自由な居場所展 (大倉山アートジャム2020)」を11/7・11/8に大倉山記念館ギャラリーで開催します。
- ・一度に大人数が集まることができないので、少人数で何回も来てもらうイベントを企画。例えば「森のようちえん」は屋外で集まろうと呼びかけ、11/7の午前、記念館から外の公園へ一緒に歩く会を行います。
- ・その他、コロナ禍でオンライン子育て情報ツール「ここみて港北」を作成。産前産後サポート、情報ツールの提供をしています。



★意見交換★

●委員 コロナ禍の中で前向きに取り組む発想が良く、またこうした地域で受け入れてくれる場が提供でき、安心につながっています。

・子どもからの発信は行われていますか？



【ミエル】「Youtubeをつくりたい!」との声を受け、8月撮影、9月編集に子ども向けの動画の作成方講座を港

北ふるさとテレビ局さんに協力してもらい開催しました。作品動画は11/7のイベントや港北ふるさとまつりで発表の予定です。

**【港北えがおまつり実行委員会】(えがお)からの現状報告・要旨**

- ・シニアを楽しますに加え、シニアが楽しませる、ナウでイケてるをコンセプトに「港北えがおまつり」開催！
- ・去年10月に企画を立ち上げ、コロナの影響で延期に次ぐ延期で、開催は今年10月となりました。
- ・コアメンバー12名、当日18名の現役世代を中心としたスタッフで運営しました。
- ・今回はオンラインでの開催、5つのそれぞれの会場を中継でつなぎました。
- ・感染対策は徹底し、会場は集まってしまうよう公開しませんでした。
- ・6回の事前のZoomの練習会もメディアで取り上げられました。やろうやろうという声は聞きますが、実際に開催した例は初めてと聞いています。
- ・10月11日(日)、3時間の放送。瞬間同時接続100名以上。
- ・シニアの活動の場が作れてよかったです。今後の発展性は無限大。他区からも参加希望があり、広げていきたいと考えています。
- ・港北にいて良かったな、と思ってもらえると良いです。



**★意見交換★**

●委員 みんなで表現や発信が繋がってすばらしいです。コロナ禍でもやり方の工夫でやれることをやるのが大事だと思いました。来年度以降も期待しています。

【えがお】コロナ禍により高齢者の外出はそもそも困難でした。このイベントで画面上下での再会があったりもしました。やってよかったです。来年も開催は決定しすでに打ち合わせが進んでいます。人を集めての開催が可能ならばプログラムも充実し開催したいと思います。

**【地球っ子・綱島】からの現状報告・要旨**

- ・鶴見川の魅力と治水・防災について親子を対象に学ぶ機会を予定しましたが、今年度はコロナで活動せず状況を見ながら再開を目指すこととしました。
- ・「地球っ子・綱島」も参加している「鶴見川流域ネットワーク」は、1991年、16団体のネットワークで川の氾濫といった防災等をテーマに30年近く活動をしている団体です。

・持続可能な活動をするためには現役世代の参加も必要で、その賃金のためにも資金的な後ろ盾が必要です。2003年にNPO法人鶴見川流域ネットワーク(法人TRネット)を法人化し、資金を得て、市民団体のネットワークである連携鶴見川流域ネットワークの活動を支えるという関係性を構築しました。

**持続可能な組織運営と今年度活動について**

2020年10月29日地球っ子・綱島事務局 亀井佳子

地球っ子・綱島はTRネットに参加する市民団体のひとつである、鶴見川流域ネットワークワーキング(TRネット)は、「鶴見川の流域はバクのかたち」(資料)を合言葉に1991年に鶴見川流域で活動する16の市民団体の連携でスタート。しかし、持続可能な活動をするためには境界があり、事務局が必要となった。若者の若手事務局長の雇用は必須で、その資金確保のために法人をつくり、法人を得る事業を確立させることと持続し進めると判断した。そのために2003年、「市民団体のネットワーク」である連携鶴見川流域ネットワークワーキング(連携TRネット)と法人のNPO法人鶴見川流域ネットワークワーキング(apoTRネット)の二つの組織とした。apoTRネットは法人として仕事をしながら資金を得て、連携TRネットの事務局として活動を支え、また逆に連携TRネットはapoTRネットの業務を支えるという関係を構築した。(参考)

現在、連携TRネットは45団体、apoTRネットは市営職員は6名他アルバイトなどを含め10名ほどが常駐して活動している。法人の大半はイベントや学習支援などが中心のため、今年度はコロナ危機に陥ったが、業務の転換や助成金などで、何とかしのげる見通しがあった。ピンチはチャンスで新しい業務への転換やチャレンジの場とらえている。

組織の課題は他の組織と同様、世代交代が順調に進むかにかかっている。今後の法人の試練である。法人の存続は市民団体の存続と関係している。

今年度は地球っ子・綱島も含め、どの団体も活動は自粛しているが、活動ができる時目がきたら再開予定である。

港北区で連携TRネットに参加しているのは、地球っ子・綱島 綱島バレーボールプロジェクト 鳥取自然生物調査隊 鶴見川中流産出団 ウェルパス 流域自然研究会 新河わんどうクラブ 養老養護大学古丸の会 松の川庭集居(縮田)の会 流域共生研究会 神奈川学園鶴見川ファンクラブ おおにし本居さん 鶴見川広域産出プロジェクト バレーボール下の会 鶴見川・水辺と緑の会 ドラゴン・ウォッチの会

バクの流域地図



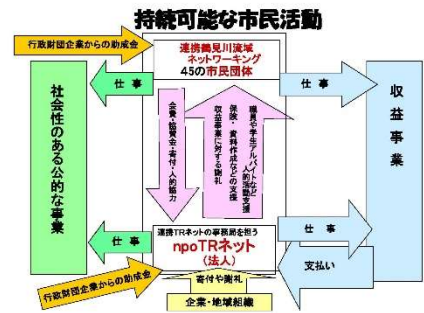
鶴見川流域はバクのかたち

・例えば「綱島バリケン島プロジェクト」は、補助金で野外活動や防災の冊子を作り、法人が事業資料として活用。再版を経ずずっと活用しています。

・港北区内の地域のチカラ応援事業によって補助金の団体はその後どうなったのでしょうか？

・他の団体との交流で、事業の広がりやサポートができるようになればよいと思います。

ぜひ、卒業団体にも声をかけ交流の機会をつくってほしいと思います。



### ★意見交換★

●委員 卒業後もずっとつながっていける手立てについて、人材や人のつながりなどの『お土産』をもって帰れるような機会があればよいと思います。

【地球っ子・綱島】市民を応援する活動は視点を変えないといけない。若い人がこの場にいないのが証拠。活動を持続するために、企業とのマッチングイベントなど若い人たちに給料が支払える仕組みが必要だと思います。

### 【港北すみれの会】からの現状報告・要旨

・港北すみれの会は20年前に文化芸術の振興を柱に美術館や博物館見学などをはじめ、年に1回芸能発表会をしています。

・その中で40年劇団を主宰している人と知り合い、ミュージカルとの出会いがありました。

・去年10月の練習に30人以上参加。ミュージカルの練習をする中で、障害を持つ方や子どもたちも来てくれました。音楽の力はすごい、と痛感しました。

・**高齢者・障害者とともにミュージカル**を練習・公演するなど地域の中で貢献したらどうかという声があり、地域の為に役に立ちたいと始めたところでコロナ禍によりストップしました。

### ★意見交換★

●委員 発表の場が今年度はなくなってしまって残念でしたが、練習を重ねてきたことによって生まれてきたものがポキッと折れないようにたくましく続けていってほしいと思います。

【港北すみれの会】活動を続けていけばまた出会いなど何か生まれると良いと思っています。

### 【NPO サンライト】からの現状報告・要旨

・スタンダードジャズなど文化を広める活動をはじめさまざまな活動を10年以上行っています。

・日本は観光立国にならなくてはいけない、という思いから、他国の文化を学ぶために「**文化の集いスマイル**」という活動を立ち上げました。

・イギリス、フランス、ロシア、イスラエル、アラブ諸国など各国の民族文化について地区センター等で講座を実施する予定です。

・やり続けていこうと思っています。オンラインでもやれたらいいのですがハードルが高い…。

### ★意見交換★

●委員 国際化と言われますが、何が国際化なのかよくわかっていないことも多く、こういった活動は大事です。地域に文化を広める活動があるのは良いと思います。仲間を増やしていくことでチャンネルを増やし、活動が広がっていくと良いと思います。

【NPO サンライト】人間同士のつながりは大事。広げていきたいと思っています。

## 【アイネット (I♥Net)】※欠席(事務局が報告)

横浜トレッサのフードコート内で実施予定の「プレママ&ビギママサロン」をオンラインに切り替え開催しています。

・PR方法は、リアルの場に参加したことがある人にはLINE公式アカウントで、その他は、Facebook、インスタ、ココアプリ、ピアッツァ、知人の紹介などを利用しました。

・スムーズに進行するために、あらかじめ申し込みの時に、スタッフや参加者に聞きたいことを書いてもらっています。

その質問に対して、こたえられるようにスタッフ側も分担を決めています。

赤ちゃんがいるママばかりなので1時間が限界かと思い、話題をテンポよく進められるよう工夫しています。

・オンラインの開催は参加者同士の交流が難しいので、この開催方法には限界も感じています。

やはり、リアルの場も作っていきたくと思っています。

### ココアプリでの紹介



### ピアッツァでの紹介



### LINE公式アカウントでの紹介



### Instagramでの紹介



### 手形足形アートワークショップ



### 毎月1回のオンラインサロン



## ★意見交換★

### ●委員

・リアルでできないのが残念です。オンラインで横のつながりがどこまでできるか？今後の取組の報告を期待しています。

## 【地域振興課長】

みなさん、コロナ禍で大変な苦勞をしながら活動されている様子をうかがうことができ、とても参考になりました。

新型コロナの感染はまだ続くことが想定されており、アフターコロナというよりむしろウィズコロナとして考えていかなければならないと思います。このような中、今後は行政のあり方も問われてくると思われま

す。活動報告を聞いていて、感染対策は主催者側の準備ばかりではなく参加者にもご協力いただき一緒に事業をすすめることが大切と改めて感じました。また、活動は自立を目指してやっていかないと成り立たないと感じました。

コロナ禍の先はなかなか見えませんが、このような会での情報を共有し、横のつながりで知恵を出し合って協力していきましょう。